

第3章 桃山台地区の概要

3.1 桃山台地区のまちづくり

(1) 千里ニュータウン¹⁾

桃山台駅周辺は、千里ニュータウンとして整備されました。豊中市は新千里南町、吹田市は竹見台・桃山台からなっています。各近隣住区ごとに小学校、近隣センター、診療所群等が計画的に配置され、歩車分離を徹底するなど、近代的住宅都市をめざし、建設が進められたニュータウンとなっています。



図3-1 竹見台公営住宅

(2) まちづくりの経緯²⁾

昭和30年(1955年)代初頭、大阪府では大幅な人口増や、核家族化、所得水準の向上等により、住宅需要や都市施設整備を求める声が強くなっていました。千里ニュータウンは、このような情勢を背景とした要望に応えるため、昭和33年(1958年)頃から住宅問題の解消および新しい都市像実現のために計画されました。昭和36年(1961年)に起工式、翌年に千里ニュータウンまちびらき式典が行われ、昭和42年(1967年)から桃山台、竹見台、昭和43年(1968年)から新千里南町の入居が開始されました。また、昭和40年(1965年)には万国博覧会が吹田市で開催されることが決定し、社会基盤整備は急ピッチで進められるようになりました。昭和45年(1970年)には、万博の開催に合わせて北大阪急行が開業し、桃山台駅、千里中央駅や万博中央口駅が新設されました。最近では、平成9年(1997年)にアザール桃山台がオープンしました。



図3-2 桃山台駅



図3-3 しいのき橋

*写真はいずれも1960~70年代

(3) 地区の抱える課題

高度成長期の短期間に、年齢層の近い核家族世帯が集中して入居したため、現在は初期入居世帯の高齢化に伴い、青年層の減少といった問題を抱えています。さらに、比較的早期に開発された都市であるため、社会基盤の整備水準が、高齢者等に対する配慮が充分ではなく、住民の生活に支障をきたすようになってきています。

【参考文献】

- 1) 大阪府：千里ニュータウンの建設，1970。
- 2) 吹田市：千里ニュータウン再生ビジョン推進事業，p.1-6，2004。

3.2 地区の現況

(1) 地形

桃山台地区は丘陵地を開発しているため、地形の起伏が大きくなっています。



図3-4 桃山台地区航空写真

(2) 人口
・人口の推移

人口は、豊中市がほぼ横ばい、吹田市が微増であるのに対し、桃山台地区は昭和50年（1975年）から平成17年（2005年）までに30%減となっています。

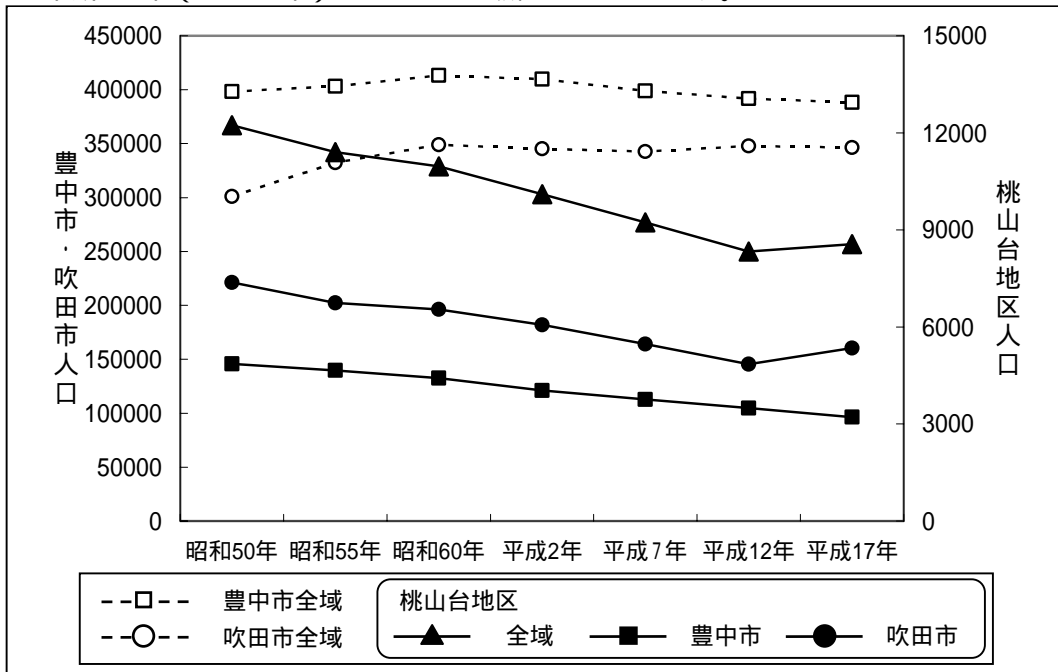


図3-5 桃山台地区の人口の推移

資料：国勢調査（S50～H12）、H17住民基本台帳

・高齢化率の推移

高齢化率は、豊中市・吹田市ともに、平成17年度（2005年度）で15%程度であるのに対し、桃山台地区は、25%程度の高い数字となっています。

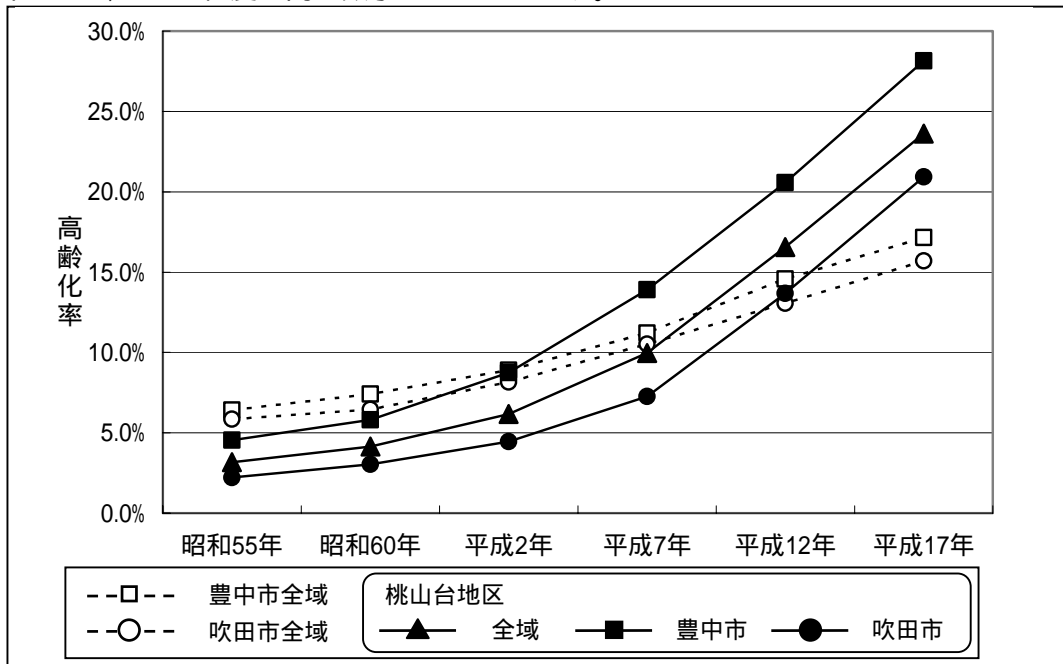
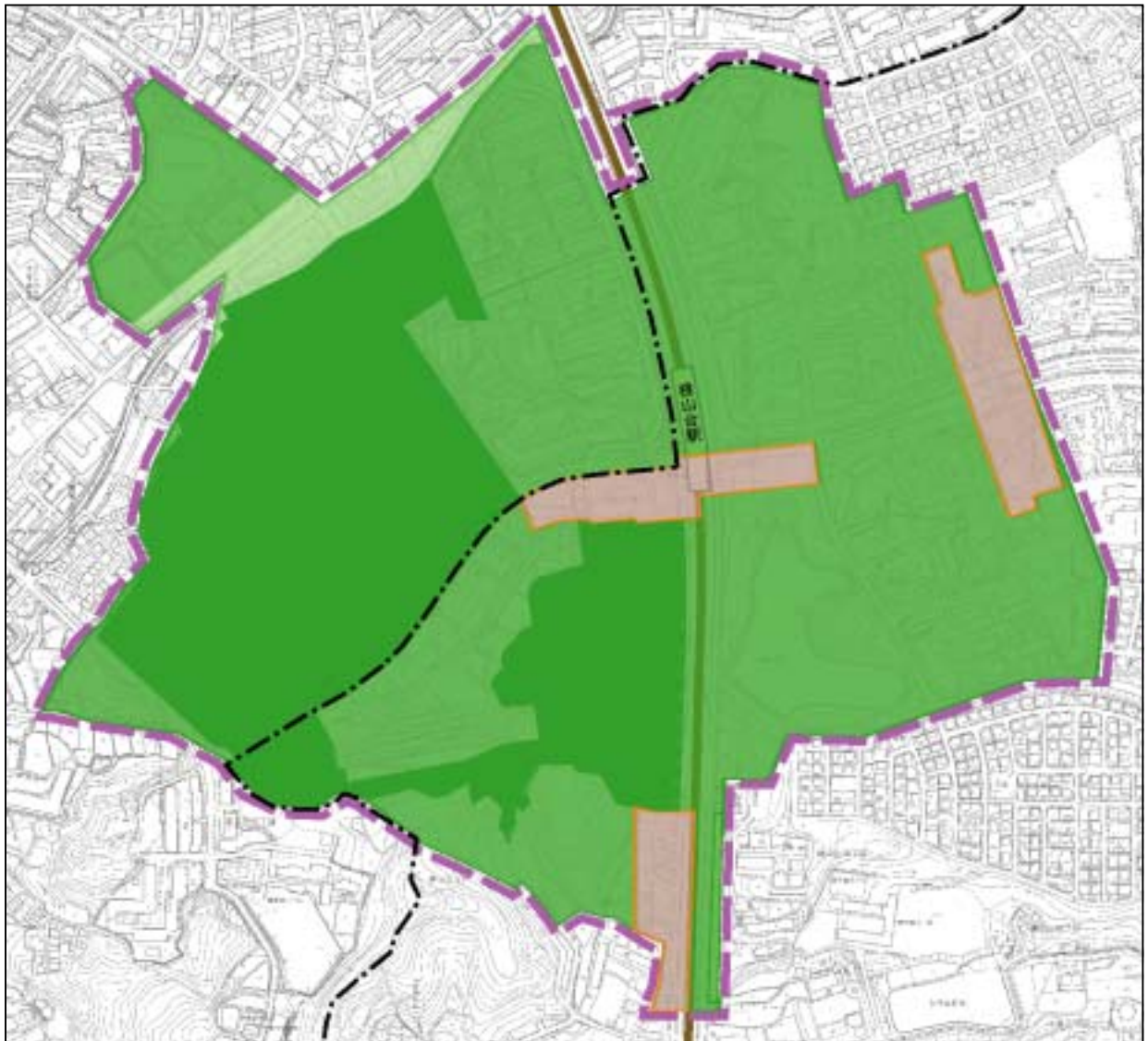




図3-6 桃山台地区の高齢化率の推移

資料：豊中市データ、吹田市データ

(3) 用途地域

駅南側・竹見台近隣センター・桃山台近隣センターは、近隣商業地域となっています。その他は、住居専用地域となっています。



凡 例	
	第1種低層住居専用地域
	第1種中高層住居専用地域
	第2種中高層住居専用地域
	近隣商業地域
	市境界線
	重点整備地区

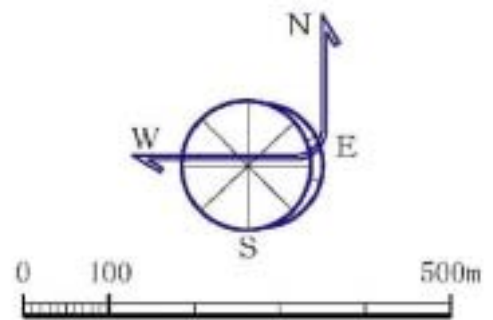


図3-7 桃山台地区用途地域図

3.3 交通施設の現況

(1) 桃山台駅

桃山台駅は、1日あたりの乗降客数が4万人を超え、吹田市にある14の鉄道駅の中でも2番目に利用者の多い駅となっています。駅舎は、国道423号の上下線の間に位置しており、桃山台駅上では国道423号の側道と千里ニュータウン内を横断する府道が交差しています。通勤・通学時間帯には多くの自動車・歩行者が桃山台駅周辺へと集中します。

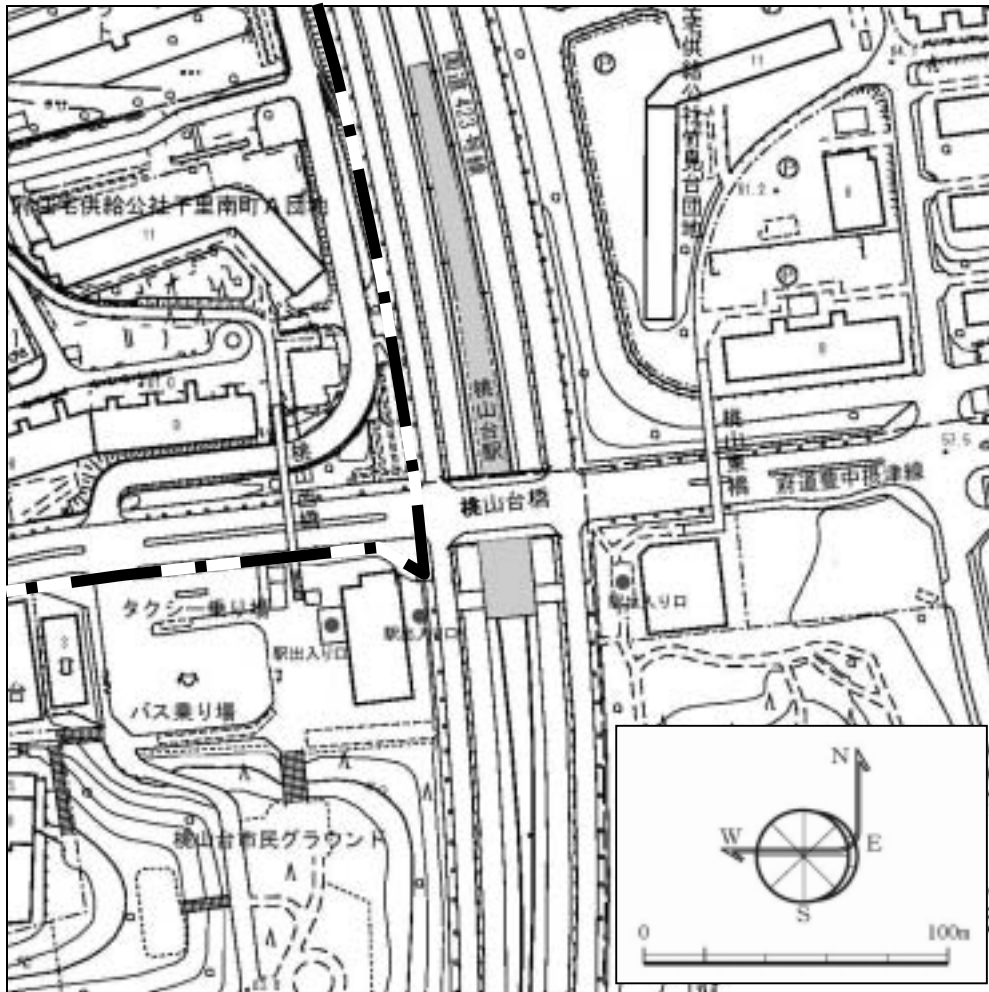


図3-8 桃山台駅周辺図

1) ホーム

- ・島式1面(梅田方面、千里中央方面)(ホームと交差する府道のレベル差は5.5m)

2) 改札口

- ・地下階に位置します。(自動改札機は7台、うち車いす対応は1台。)

3) 改札からホームへの連絡

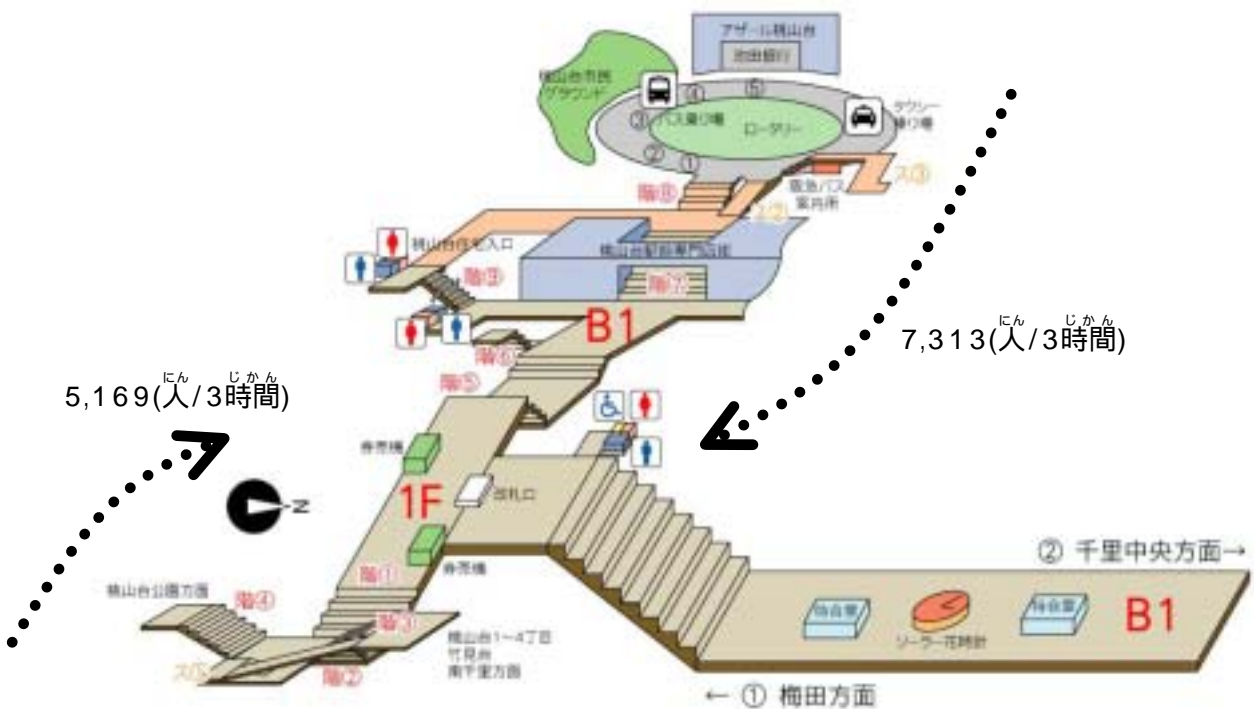
- ・階段(1箇所)を利用します。エレベーターおよびエスカレーターの設置はありません。
- ・車いす用に階段昇降機を設置しています。

4) 改札から地上への連絡

- ・改札から東西2方向へ連絡してます。いずれもエレベーターおよびエスカレーターの設置はなく、階段のみとなります。
- ・改札から東方向へは、車いす用に階段昇降機を設置しています。

5) トイレ

- ・改札内に設置しています。男女用とは別に車いす用トイレを設置しています。





歩行者通行量(人/3時間)
 平成17年(2005年)11月9日(水)7~10時の朝3時間通行量

図3-9 桃山台駅および周辺イメージ図

(2) バス

桃山台地区では、路線バスと高速バスが運行しています。

路線バスの乗り場は駅前広場に位置しており、桃山台駅での北大阪急行への乗継利用等も含めて、周辺地域への交通の起点となっています。高速バスの乗り場・降り場は国道423号の側道に位置しており、広域交通手段の核となっています。

駅前広場および、高速バスの乗り場・降り場共に、吹田市に位置していますが、豊中市民も多く利用しています。

1) 駅前広場(桃山台1号線)

路線バスのバス停「桃山台駅前」からは、阪急バスが31系統を運行しています。

2) 「千里ニュータウン」乗り場・降り場(国道423号)

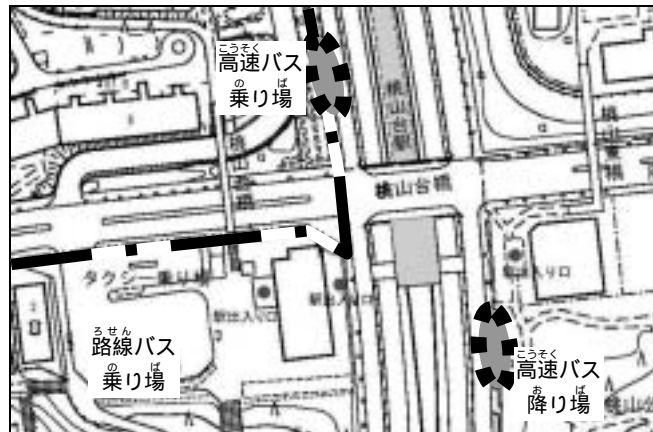
高速バスのバス停「千里ニュータウン」からは、阪急高速バス、西日本JRバス等が、合計41路線を運行しています。



図3-10 桃山台駅前広場



図3-11 高速バス乗り場



阪急高速バス¹が23路線、西日本JRバス²が11路線、日本交通が3路線、全但バスが2路線、国際興業大阪が2路線の合計41路線が運行。

1 共同運行：南国交通・丹後海陸交通バス・伊予鉄道・京都交通・土佐電鉄・備北バス・高知県交通・中国バス・四国高速バス・広島電鉄・伊那バス・中鉄バス・信南交通・いちばでんてつまつちとでんてつちゅうごくサンデン交通・川中島バス・西日本鉄道・新潟交通・長崎県営バス

2 共同運行：JR東海バス・神姫バス・名阪近鉄バス

3.4 地区内の問題点

桃山台地区のバリアフリーに関する主な問題点は次のとおりです。

表3-1(1) 地区内の問題点

	主な問題点	
桃山台駅	<p>< 垂直移動 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅構外からホームまで、階段と階段昇降機しかありません。 ・ 階段昇降機は駅の東側にしかありません。 ・ 改札口が一つであるため、ラッシュ時には、改札階からホームまでの階段に通勤・通学者が溢れ、とても危険な状態となっています。 <p>< 個別施設 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車いす対応トイレが、改札階にしかありません。 ・ 券売機の蹴り込みが小さく、車いすでは利用しにくくなっています。 <p>< 誘導案内情報施設 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設への案内がわかりにくくなっています。 ・ 視覚障害者誘導用ブロックの設置位置が統一されていません。 	  
西側駅前広場	<p>< 駅からの連続性 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅からの経路上には階段しかなく、車いすでは移動できません。 <p>< バス停 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス停が曲線上に設置されている箇所では、バスの寄りつきが悪くなっています。 	
交差点	<p>< 移動 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車道と歩道の段差が大きくなっています。 <p>< 横断歩道等との切下部 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たまり部が少なくなっています。 <p>< 信号機 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者用灯器の青時間が短く、音響信号機などがありません。 	

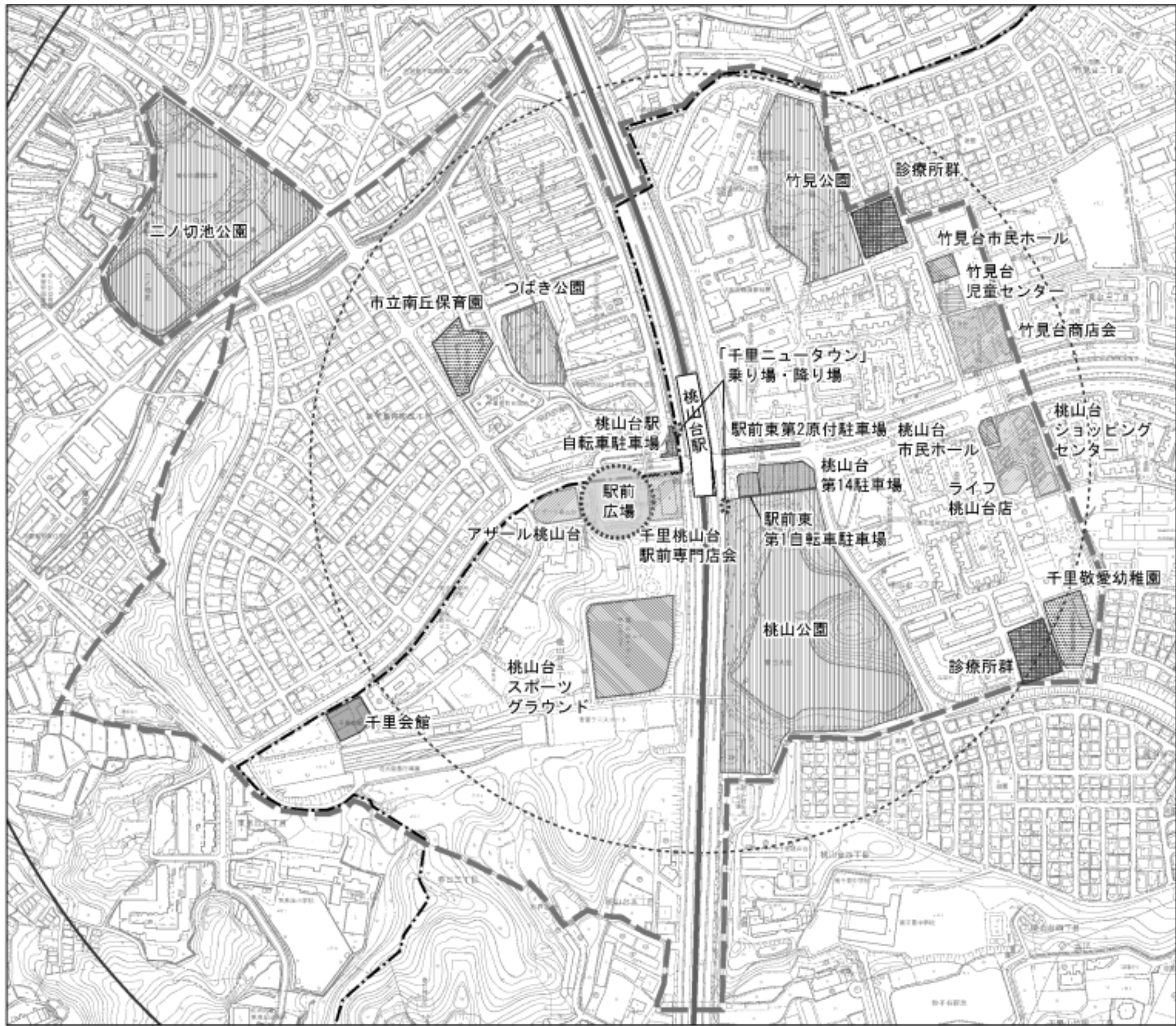
ひょう 表3-1(2) ちくない ちんだいてん
地区内の問題点

	あも ちんだいてん 主な問題点
ほどう 歩道	<p><いどう> <移動></p> <ul style="list-style-type: none"> いちぶ ほどう しゃどう だんさ あお かしよ ・一部、歩道と車道の段差が大きい箇所があります。 ほそなど ろうきゆうか ある かしよ ・舗装等が老朽化しており、歩きにくい箇所があります。 <p><こべつしせつ> <個別施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ほどうしやうめい やかん くら かしよ ・歩道照明がなく、夜間が暗い箇所があります。 <p><ゆうどうあんない> <誘導案内></p> <ul style="list-style-type: none"> しかくしやうがいしやゆうどうよう ふせつ かしよ あお ・視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていない箇所が多くあります。
ちちやまだいばししゆうへん 桃山台橋周辺	<p><いどう> <移動></p> <ul style="list-style-type: none"> いちぶ ほどう しゃどう だんさ あお かしよ ・一部、歩道と車道の段差が大きい箇所があります。 <p>そのため、くるま りようしゃ つうこう そのため、車いす利用者が通行しにくくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> じどうしゃこうつう しゆうちゆう ほこうしゃ きげん ・自動車交通が集中するため、歩行者に危険があります。

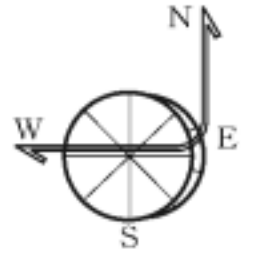
3.5 しせつはいちじようきよう 施設配置状況

(1) しせつはいちじようきよう 施設配置状況

ちちやまだい ちく しせつはいちじようきよう ず
桃山台地区の施設配置状況は図3-12のとおりです。



凡 例	
	商業施設
	官公庁施設・公共施設
	教育施設等
	医療・保健施設
	福祉施設
	公園施設
	公益施設
	駐車場・駐輪場
	駅前広場、バス停
	市境界線
	重点整備地区
	駅から500mの範囲
	駅から1000mの範囲



図名 桃山台地区 地区内施設配置図

図3-12 桃山台地区地区内施設配置図